2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教 員による授業科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
3823005	学校教育概論 Theory of school education	河合龍二		専門	2	選択	1前期

科目の概要

学校教育概論は、学校司書を目指す学生にとって必須の科目である。学校職員の一員として活躍するためには、学校教育についての基礎基本を理解しておく必要がある。幼児・児童及び生徒の発達段階にふさわしい教育をしようと歴史が刻まれてきた。それを踏まえて、教育の今日的課題を考える視座を身に付ける。(ディプロマ・ポリシー②③④⑤)

学修内容	THE PARTY AND TH
	到達目標
	心身の発達及び学習の過程(発達障害を含む)について
② 教育の理念及び教育に関する思想と歴史について理解 ② 教	月することができる。(ディプロマ・ポリシー②③④) 教育の理念及び教育に関する思想と歴史について説明
③ 教育課程の意義及び編成の方法について理解する。 ④ 学校教育に関する現代的諸課題について考察する。 ④ 学校教育に関する現代的諸課題について考察する。 ④ 学	ることができる。(ディプロマ・ポリシー②③④) 教育課程の意義及び編成の方法について説明することできる。(ディプロマ・ポリシー②③④) 学校教育に関する現代的諸課題について実践で役立つの見方・考え方を身に付け発表することができる。

学生に登め	発揮させる社会人基 能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
	主体性	学校教育に関する諸課題について、自らの体験を踏まえつつさまざまな事例を調査することができる。
前に踏 み出す 力	働きかけ力	
	実行力	学校司書の職に就くという目標に向かって、友人と切磋琢磨し、研究と修養を積むことができる。
	課題発見力	さまざまな情報を収集し比較分析することで、学校教育に関する諸課題について客観的に 見極めることができる。
考え抜く力	計画力	
	創造力	今後の学校教育において、その一員として機能するための必要条件を自ら考え、友人との 対話で深めることができる。
	発信力	各種事例の分析結果を、相手に伝わるように文章や発表で表現することができる。
	傾聴力	他者の意見について内容の確認や質問をすることで、正確に理解することができる。
チーム	柔軟性	
で働く力	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	
	1	I .

テキスト及び参考文献

テキスト:「学校司書のための学校教育概論」2019年 野口武悟・鎌田和宏 編著 樹村房 2,200円(税込) 参考文献:講義中に随時紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:図書館に関する科目 資格との関連:学校司書、図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
テキストに即して基礎知識を獲得することに加え、今後の 学校教育の在り方を考える姿勢をもちたい。切実な課題も ある。目をそらすことなく、自分に何ができるかという当 事者意識をもって臨んでほしい。	授業時間内の集中力が大切である。友人と積極的に恊働して毎回の テーマについて考えを深め、成果をあげよう。グループワークでは 「レタートーク (お手紙まわし)」等さまざまなしかけを試すの で、積極的に取り組もう。配付プリントや振り返りシートは、ポー トフォリオとして、各自保管しておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価 評価方法 対象		評価の 割合	到達目標		Į	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメン				
		筆記 (レポー ト含む) ・実 技・ロ頭試験	0	1							
	学			2							
	期末			3							
	試験			4							
			30	1	1			学校教育の基礎知識について計3回の小テストを実施し、その定着 度を測る。			
				2	1			得点をそのまま評価点とする。			
		小テスト		3	1			8割に満たない者及び欠席等不受験者に対しては、課題の指示をす			
				4							
学修成果											
		レポート	30	1	1			振り返りシートに、何を学び今の自分に何が足らないかを記述す る。それを蓄積し、常に学修の調整をしている。			
				2	✓			る。 CAVと留復し、RIC子珍の剛正としている。			
				3	1						
	平常評.			4	1						
	評価	成果発表(プ レゼンテー ション・作品 制作等)	30	1				学校教育の仕組みに関する現状と課題について理解できている。それを踏まえて「学校教育における学校司書の役割と可能性」をテー			
				2				マに意見発表ができる。また、発表を傾聴しつつ課題を発見し、対 話で考えを深め、解決することができる。この活動でpisa型学力が			
				3				身に付いている。			
				4	1						
			10	1	1			(主体性)毎回の内容に加え、他の図書館に関する科目での学修内容と重ね合わせて考察を深めることができる。 (実行力)自分の意見を磨くため、グループワークに積極的に参加できる。			
学修行動		社会人基礎力 (学修態度)		2	1			(実行力) 自分の意見を磨くため、グループワークに積極的に参加できる。 (課題発見力) 広く見聞し、学校教育の課題を発見できる。 (創造力) 今後の学校教育の在り方について、独自の視点で考察できる。			
				3	1			(発信力)目らの怠見を、相手に伝わる工夫をして記述したり発表したりでき			
				4	1			る。 (傾聴力)他の意見を真摯に受け止めるアクティブ・リスニングができる。 (規律性)無断遅刻・無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が			
								円滑に進行するようルールを守ることができる。			
	総合評価 割合		100								

【到達目標の基準】				
到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準			
A(優) ・学校教育の基礎知識を測る小テストで8割以上。 ・学校教育に関する今日的課題に対して理解し、解決に向けて自分がやれることを自覚できる。 ・組織の一員として児童生徒の教育に関わる意欲と覚悟をもつことができる。 S(秀) ・上記A基準を上回る内容であればSとする。	B(良) ・学校教育の基礎知識を測る小テストで7割以上。 ・学校教育に関する今日的課題に対して理解し、自分がやれることを考えることができる。 ・組織の一員として子供の教育に関わる意欲をもつことができる。 C(可) ・学校教育の基礎知識を測る小テストで6割以上。 ・学校教育に関する今日的課題に対して理解できる。 ・組織の一員として児童生徒の教育に関わる必要性を自覚できる。			

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 授業概要、授業のルー ル、評価方法を理解す る。 学校教育を受けてきた 自身を振り返る。	・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールを用いて、思考 の整理をする。PCを使った調べ学習をする。調べた語 句は「オリジナル辞書」と してPCフォルダに蓄積して いく。(以下同じ)	・学校教育の課題について、自身の経験に照らしてワークシートに記述できる。	(復習)振り返りシートによりながったかでを確認し、一次ではなったかでを確認し、これではないかにかけけたのかででででいた。 という こう	180	主体性 課題力 見聴力 規律性
2	子どもの発達と学習の プロセス① 「発達の理論とプロセ ス」をテーマに、対話 によって理解を深め る。	・講義 ・演習及びグループ ワーク 思クラールを用いて各 自の考プールをまとめ、 ものの見方・考え方を深 める。	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習)テキストを熟 読しておく。 (復習)振り返りかで トにより、たか、かを ようになったたかいを確 認し、今後身に付け い力について る。	180	主 主 課 見 順 規 制 相 性 力 発
3	子どもの発達と学習の プロセス② 「発達障害の理解と支 援」をテーマに、対話 によって理解を深め る。	・講義 ・講習及びグループ リフラールを用いて各 リフラールをまとめし、 もので、 もので、 もので、 もので、 もので、 もので、 もので、 もので	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習) テキストを熟 読しておく。 (復習) 振りシか、 (復習) 振りがか、でようになったかかで確 ようになったかかを確 認し、今後身に付けた い力について記述す る。	180	主体性力発見所聴性力
4	子どもの発達と学習プロセス③「学習の理論と学習指導」をテーマに、対話によって理解を深める。	・講義 ・演習及びグループ リーカーのを用いて各 はの考えをまとめし、 もの一プ内で共有しいの見方 のの見方・考え方を深める。	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習) テキストを熟 たしておく。 (復習) 振りがいい (復習) 振りがいい (復習) について (ではないがらないがらないがらないがらないがらないがらないがらないがらないがって (ではないがって) について (ではないがって) について (ではないがって) にっしい (ではないがって) にっしいがって) にっしい (ではないがって) にっしい (ではないがいがって) にっしい (ではないがって) にっしいがい (ではないがって) にっしい (ではないがって) にっしいがい (ではないがいがって) にっしい (ではないがいがいがいがって) にっしい (ではないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	180	主実課見 規制 上海 大学 主 大学
5	子どもの発達と学習の プロセス④ 「教育の測定と評価」 をテーマに、対話に よって理解を深める。	・講義 ・講習及びグループ ワーキック 思自ので表表をまとめ、である。 もの見方・考えをまれるのの見方・考えを深める。	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習) テキストを熟 売しておく。 (復習) 振りシか、 にほより、たかいであるようになったかかで確 認し、今後身に付けていたのかにかけた。 い力について記述する。	180	主実課見傾規
6	学校教育の理念、思想と歴史① 「教育の本質と目的」 をテーマに、対話に よって理解を深める。	・小テスト(2~5週「子どもの発達と学習のプロセス」の内容) ・講義 ・演習及びグループワーク 思考ツールをか、グループを者プール考えを有し、ものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習) 小テスト (2~5週「子どもの発達と学習のプロセス」) 対策をしてくる。(復習) 振り返りシートにより、何が分かるようになったか、で確認し、今後身に付けたい力について記述する。	180	主実課見願規
7	学校教育の理念、思想と歴史② 「学校教育の思想と歴史: 西洋」をテーマ に、対話によって理解を深める。	・講義 ・講習及びグループ ワフラールを用いて、 リフラールをまとめし、 である。 ・講覧のである。	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習) テキストを熟 読しておく。 (復習) 振りシか、 (復習) 振りがか、で ようになったかがで確 るようになするとがけた い力について記述す る。	180	主生主課見傾規
8	学校教育の理念、思想と歴史③ 「学校教育の思想と歴史:日本」をデーマに、対話によって理解を深める。	・講義 ・講習及びグループ ワフタールを用いて各 リークの考えをまとめ、 で もの一プ内で共有し、 の り の り り り の り の り り の り り り り り り り	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習) テキストを熟 読しておく。 (復習) 振りかのかいではようになったかいであるようではなったかがで確認し、今後身に付けていたかけたいたかがある。	180	主体性力発 見師連性 規律性

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	教育課程の意義と編成 ① 「教育課程の意義と構造」をテーマに、対話によって理解を深める。	・小テスト(6~8週「学校教育の理念、思想と歴史」の内容)・講義・・思考を選びグループワークの思考を明めて、まるで表します。というでは、ものの見方・考えをまとものの見方・考えを深める。	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習) 小テスト(6~8週「学校教育の理念、思想と歴史」 対策をして(復習) 振り返りシようにより、たか、でできるようになったかを確認し、今記述でけたい力について記述する。	180	主体性力 実行題 見 見 順 規 律 性
10	教育課程の意義と編成 ② 「学習指導要領と教育 課程編成の実際」を テーマに、対話によっ て理解を深める。	・講義 ・演習及びグループ 思考ツールを用いてる 自の考えをまとめし、 ものプ内で共有し、 の見方・ ある。	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習) テキストを熟 テキストを いっている では、	180	主体行力発見力を強力が表現の大力を表現します。
11	教育課程の意義と編成 ③ 「教育課程と学校図書 館」をテーマに、対話 によって理解を深め る。	・講義 ・演習及びグループ で考ツールを用いて、各 のので、大 のので、大 のので、大 のので、大 のので、大 ののので、大 のののののののののの	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習) テキストを熟ましている。 (復習) まりいがいででは、 (復習) 振りががいたいではなり、何かかでではなり、ではなりができるようではなりに付けたいたがけたいたいでは、 (では、一ついては、 (では、) では、 (では、) では、) では、 (では、) では、 (では、) では、) では、) では、) では、 (では、) では、) では、) では、) では、) では、) では、) では、)	180	主体行力発見力を強力が表現の大力を表現します。
12	学校教育の仕組み、現 状と課題① 「教育法令、制度、行 政と学校」をテーマ に、対話によって理解 を深める。	・小テスト(9~11週「教育課程の意義と編成」の内容)・講義・演習及びグループワーク思考ツールを用いて各プサースを表すとものの見方・考え方を深める。	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習) 小テスト (9~11 週「教育課程の意義と編成」の内容) 対策をしてくる。 (復習) 振り返りシートにより、何が分かるようになったか、できるようになったかを確認し、今後記述けたい力について記述する。	180	主体行題是,是是一个主义,并不是一个主义,也不是一个主义,也不是一个主义,也不是一个主义,也不是一个主义,也不是一个一个,也不是一个
13	学校教育の仕組み、現 状と課題② 「教職員の服務と校務 分掌」「学校教育の課 題と展望」をテーマ に、対話によって理解 を深める。	・講義 ・演習及びグループ リーカーのを用いて各 リーカーのをまとめて、 ものので共有し、 ものの見方・ ものの見方・ ものる。	・学習内容について、 おおむね正しくワーク シートに記述できる。	(予習) テキストを熟 売しておく。 (復習) 振りかい 振りが (復習) 振りが (ではなり、何かいでないになったかがで確認し、今後身に付けたいたのにが (ではない) について記述する。	180	主体行力 実課題見 順力 力 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
14	発表 「学校教育における学校司書の役割と可能性」をテーマに、学校司書として児童生徒の教育に参画する実務の可能性を提案する。	·PCを用いてプレゼン テーションを実施す る。全員に伝わるよう に言葉を選び、音声表 現の工夫をする。	・ルーブリックに照ら し、自己評価も相互評 価も「おおむね満足」 となる。	(予習) PCでプレゼンテーション資料を作成しておく。(復習)振り返りシートにより、自己評価をし、他者からの評価を受けて記述する。	180	主実課見創発傾規 性力発 力力力力性
15	オンデマンド ・前週の成果発表会を振り返り、総評をする。 ・14週全体のまとめとして、学校司書になるための、自らの課題を再発見する。	視聴とレポート課題提出	・期限を守ってレポートを提出し、ルーブリックに照らし、「おおむね満足」と評価できる。	(復習) レポートを書くことで学修内容を振り返り、学校司書としての意欲を高める。	180	主体性力 寒洞 見力 力 制 律性 見 力 力 力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力